

第3学年 社会科 学習構想案

菊池市立菊池北中学校

教諭 宮崎 貴臣

1 単元構想

単元名	「地方自治と私たち」（東京書籍『新しい社会 公民』p110～p126）		
単元の目標	(1) 地方自治の基本的な考え方について理解する。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解する。 (2) 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 (3) 民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとする。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	①地方自治の基本的な考え方について理解している。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解している。	①対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	①民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
単元終了時の生徒の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
我が国の民主政治の発展のために、主体的に政治に参加しようとする生徒			
単元を通じた課題		本単元で働かせる見方・考え方	
菊池市の課題を追究し、「菊池市の魅力を活かす政策プラン」を考えよう。		生徒が考えたプランに対して、「効率と公正」「持続可能性」の視点に着目して、考察する。	
指導計画と評価計画（11時間取扱い 本時①6・7/11 本時②10/11）			
過程	時間	学習活動	具体的評価規準 ★は記録に残す評価の場面での「具体的評価規準」
課題把握(2)	1	○誰を市長に選ぶべきかを考える。	★【思—①】（方法：発言、ワークシート）各候補者の主張を効率・公正、持続可能性の視点から考え、誰の主張を支持するのか判断している。 【知—①】（方法：観察、ワークシート）
	1	○地方自治の役割や仕組みについて理解する。	
課題追究・課題解決(6)	1	○自分が住む地方公共団体（菊池市）の課題と誇れることや残していきたいことを考える。	【思—①】（方法：観察、ワークシート） ★【思—①】（方法：観察、アイデアシート）マトリックス方式で課題の解決のための策となるヒントを考えている。 ★【思—①】（方法：観察、ひまわりシート）よりよい菊池市にするために、自分にできることを考察、構想している。 【態—①】（方法：発言、ひまわりシート） 【思態—①】（方法：観察、発言、作業）
	1	○私の成功アイデア作りシートを使って、よりよい菊池市にするためのヒントを考える。	
	1	○ヒントをもとに、個人でひまわりシートを作成する。	
	2 本時 ①	○ <u>個人のひまわりシートをもとにグループのひまわりシートを作成する。</u> ※ <u>プラチナ人財育成塾参加者の意見・感想</u>	
新たな課題(2)	1 本時 ②	○ <u>より魅力あるまちづくりの政策を討論や交流を通して、効率・公正の視点で再考し、自分の考えを持つ。</u>	★【態—①】（方法：発言、ワークシート）各陣営のプレゼンを聞き、効率・公正の視点から考察し、最終的に中学生の今、私たちに貢献できることは何かを考えている。 ★【態—①】（方法：アンケート）政治参加について、学習を振り返りながら、主体的に社会に関わろうとしている。
	1	○まとめ、単元の振り返り。	

2 単元における指導計画と評価計画及び系統

学習指導要領における該当箇所				
<p>学習指導要領〔公民的分野〕のC「私たちと政治」の(2)「民主政治と政治参加」を受けて設定されている。民主政治をより良く運営していくためには、どのようなことが必要かを理解することができるようにするとともに、住民自治を基本とする地方自治の発展に寄与しようとする自治意識の基礎を育てることを主なねらいとしている。</p>				
教材等の価値				
<p>選挙権年齢が満20歳から18歳に引き下げられた現在、選挙権をはじめとする政治に参加する良識ある主権者として、主体的に政治に参加しようとすることについての自覚を養うことが大切である。また、現在の地方自治を取り巻く状況は、少子高齢化や情報化、グローバル化などにより急速に変化している。その変化の中で、今後の方向性を明確にしていく上で、国はもちろん、各地方自治体においても「総合計画」を策定し取り組んでいる。誰もが安心して豊かに暮らすことができる地域をつくる「民主主義の担い手」として、地域の課題を解決しようとする態度や資質・能力を育成することが必要である。</p> <p>本単元の学習を通して、生徒一人一人が政治に対する関心を高めるとともに、主体的な社会への参画が大切であることについて考えることが期待できる単元である。</p>				
本単元における系統				
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 小6「暮らしの中の政治」 ・身近な暮らしと政治 </div> <div style="margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 中2「身近な地域の調査」 ・菊池市の考察 ・菊池川流域の日本遺産について </div> <div style="margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: flex; align-items: center; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="width: 30%;"> 中3【公民的分野】 「私たちの生活と文化」 ・暮らしに生きる伝統文化 </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> 「地方自治と私たち」 ・誰を市長に選ぶべきか ・菊池市の政策プランを考えよう </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> </div> <div style="width: 30%;"> 「より良い社会を目指して」 ・持続可能な社会の実現に向けて </div> </div> </div>				
生徒の実態（単元の目標につながる学びの実態）				
■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況 （単位：37人）				
調査内容	ある	どちらかというところ	あまりない	まったくない
政治に興味がある。	1	9	24	3
調査内容	知っている		知らない	
菊池市長を知っている。	28		9	
■本単元の学習に関する意識の状況 （単位：23人）				
調査内容	見る	どちらかというところ	あまり見ない	まったく見ない
政治に関する新聞やニュースを見る。	4	7	19	7
調査内容	選挙だけ	どちらかというところ選挙だけ	どちらかというところ選挙だけではない	選挙だけではない
政治参加の方法についての考え。	5	21	2	9
■考察				
<p>本単元を学習するに当たり、政治に興味があるかという質問に対して、「あまりない」「まったくない」と答えた人数が合わせて27人（約73%）と非常に多く、生徒の政治に関する興味の無さが顕著に出ている。また、生徒の政治への参加方法についてのアンケートでは、選挙に参加をすることが政治参加であると認識している生徒が約70%である。選挙権を得る18歳までは、政治とは無縁であり、興味も関心もないと考える生徒が増え、若者の政治離れにつながっている。そこで、住民参加による住民自治の考え方について、理解と関心を深めさせ、生徒の自発的な政治参加を促すことができるように、生徒自身が主体的に関わっていく態度を養う必要がある。</p>				

3 指導に当たっての留意点

研究テーマ（本校のテーマ）

課題に対して、G R I T《粘り強くやり抜く力》する生徒の育成

～3 K（好奇心・考動・協働）プラス1 S（省察）を意識した活動を通して～

研究仮説

授業や学級活動等で、好奇心、考動、協働に加えて省察を意識した活動を続け、成功体験や達成感を積み重ねていけば、課題に対して粘り強くやり抜く生徒が育成されるだろう。

- 住民参加による住民自治の考え方について理解と関心を深めさせ、生徒の自発的な政治参加を促すことができるように、生徒にとって身近な「菊池市のまちづくり」に焦点を当て課題を設定することで、生徒に追究意欲を持たせる。
- 実際に菊池市長に立候補すると仮定させて、政策プランを考えさせることで、より身近な事象として捉えることができるようにする。
- 政策の討論の場面では「コの字型」で交流させる。生徒対教師ではなく、生徒対全体とすることで、より広い視点から学習課題への追究に向かわせるようにする。また、全体討論の後は4人の小グループで、どこのポイントが効率・公正の点で良かったのかについて意見を交わし考えを深めることで、よりよいプランを考えようとする自主的な態度を高められるようにする。
- 振り返りの時間では、G Tの意見に触れさせる。また、政治に参加することに対して考えの深まりや、自己の考えの変容を記述させる。さらに、中間の政策を参考に、自分の考えも加味して記述できているかを評価する。
- UDの視点から、本時の流れを電子黒板に視覚的に表示する。また、全体の討論の場面では、「Microsoft Teamsのチャンネル」を使って投稿させることで、気付きや意見を共有する。さらに、各陣営が考えたひまわりシートが手元で確認できるように、各生徒のタブレットに配布する。

4 ESDとの関連

- ・本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）
 - 多様性…世代や性別、国籍など菊池市に住んでいる様々な人々の幸福感を考えている。
 - 相互性…菊池市の課題に対して、菊池市の魅力を活かした政策案を考えている。
 - 公平性…菊池市に住むすべての人にとって効率・公正であるかを考えている。
 - 責任性…将来にわたって、維持・管理を行っていくことが可能なのかを考える。
- ・本学習を通して育てたいESDの資質・能力
 - 未来像を予想して計画を立てる力…菊池市の課題をもとに、これからの菊池市を予想し、中学生の今、できることを考える。
 - 多面的・総合的に考える力…菊池市の様々な魅力を取り入れながら、政策案を考える。
 - 他者と協力する態度…同世代だけではなく、地域の方にも参画してもらい、意見を聞きながら政策案の作成を進める。
 - 進んで参加する態度…生徒一人一人が政治に対する関心を高め、主体的に政治に関わろうとする態度を育てる。
- ・本学習を通して育てたいESDの価値観
 - 世代間の公正…自分たちだけでなく、高齢者や幼い子供まで、菊池市に住むすべての人が誇れるまちづくりが大切である。
 - 幸福感に敏感になる。幸福感を重視する。…自分たちだけが幸せであることが、将来にわたって幸せであるということではないことを意識する。
- ・関連するSDGs
 - 様々な分野において期待できるが、特に
 - 3 すべての人に健康と福祉を
 - 11 住み続けられるまちづくりを
 - 16 平和と公正をすべての人に

5 本時の学習①

(1) 目標 より魅力あるまちづくりの政策案作成について、各個人が考えた政策プランをグループで交流・検討することを通して、効率・公正や持続可能性の視点を踏まえた政策プランをまとめることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図, 内容, 方法等)
導入	3分 1分	1 前時までの内容を確認し、現在の菊池市の課題と魅力を確認する。 2 本時のめあてを確認する。	○生徒が考える現在の菊池市の課題と魅力を貼りだし、確認させる。 ○本時の学習課題を提示する。
【めあて】より魅力ある菊池市にするため、菊池の魅力を活かすことを中心に据えた政策案を地域の方と一緒に考えよう。			
展開	3分 5分 7分 2分 77分	3 本時の流れを確認する。 4 GTの紹介(自己紹介) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> 地域学校協働活動の活用 </div> 5 GTと質疑応答を通して、全体交流を行う。 6 プラチナ参加者の感想 7 各グループに分かれて、政策案の検討・作成を行う。 ・作成の手順を聞く。 ・グループで交流し、政策案の作成を行う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 【期待される学びの姿】 グループでの交流や、すでにまちづくりに何らかの形で参画されている地域の方との交流を通して、なによりよい政策につながるのかといった考えを「効率・公正」「持続可能性」の視点でとらえ直し、主体的に政策案作成に取り組む姿 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【具体的評価規準】思考・判断・表現、態度 自分の住むまちの将来の展望について、「効率・公正」「持続可能性」の視点を踏まえ、政策案作成に積極的に参加することができる。 (方法: 発言, ひまわりシート, 振り返りシート) 【到達していない生徒への手立て】 具体的な例を示すことで、ひとつでも策を持たせるようにする。 </div>	全体 (ポイント) ○全体討論の進め方やグループ交流の進め方を確認し、一連の流れを「菊池の魅力を活かす」「効率・公正」「持続可能性」の視点を持って考えるように指導する。 ○5名の方の自己紹介と活動内容を聞き、GTの日頃の活動内容やまちづくりへの思いを知る。 考動 (ポイント) ○これから行う政策案作成に必要な全体的な内容等を質問することで、作成手順のヒントにさせる。 ○質疑応答の時間を通して、GTとの交流を深める。 協働 (ポイント) ○作成の手順を確認しながら、まずは、根っこにある想いとアイデアの概要をまとめさせる。その際に、様々な資料等を使ってもう一度検討するように促す。 ※市役所市長公室及び図書室より資料提供 ○概要が決まったら、ひまわりシートの花の部分と葉っぱの部分を考えさせ、より具体的な構想につなげさせる。 ○政策案作成の際は、それぞれのグループに一人ずつ地域の方に入ってもらい、一緒に考えさせる。その際、視点を押さえた内容になっているか、また、現実性があるかどうか、予算など理にかなっているかどうかを検討する。 ○仕上がった政策案は掲示を行う。 ※途中トイレ休憩を入れる。
終末	6分 1分 5分	8 GTからの感想を聞く。 9 教師のまとめを聞く。 10 本時の学習を振り返る。	○本時の学習やGTの感想を通して、政策案作成・検討に対して考えの深まりや、自己の考えの変容を記述させる。

6 本時の学習②

(1) 目標 より魅力あるまちづくりの政策について、各陣営が考えた政策プランの討論会やグループ交流を通して、効率・公正の視点を踏まえたうえで再考し、最終的に今の自分にできることを説明することができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	2分	1 前時までの内容を確認し、現在の菊池市の課題を確認する。	○生徒が考える現在の菊池市の課題を貼りだし、確認させる。 ○本時の学習課題を提示する。
	1分	2 本時のめあてを確認する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【めあて】より魅力ある菊池市にするため、菊池の魅力を活かすことを中心に据えた政策を考えよう。</p> </div>			
展開	3分	3 本時の流れを確認する。	徹底指導 (ポイント) ○全体討論の進め方やグループ交流の進め方を確認し、一連の流れを「魅力を活かす」「効率・公正」「持続可能性」の視点を持って考えるように指導する。
	60分	4 全体討論会を開催する。 ・コの字型(全体)で交流する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【期待される学びの姿】 各陣営(候補)の政策を聞いて、意見の交流を行うことで、なにがよりよい政策に繋がるのかといった自分の考えをとらえ直し、主体的に政治に参加しようとしている姿</p> </div> ◇マスコットの案は、面白そうだな。	能動型学習 (ポイント) ○それぞれの陣営(グループ)が考え作成した政策プラン(プレゼン)を活用させ、根拠をもとに討論させることで、説得力のある発表にする。 ○聞き手には「魅力を活かす」「効率・公正」「持続可能性」の視点で、発表を聞かせ、意見や疑問点等を質問させることで、よりよいプランを考えるように促す。また、発表を聞いて感じた率直な意見を「Microsoft Teams」のチャンネルに随時投稿させることで、どこに関心を抱いたのかりアルタイムで共有させる。 ○政策概要(ヒマワリシート)により、視覚的な手立てを行い、どの点が良かったのか、根拠(理由)を示しながら交流させ、その意見を付箋に記させる。
	15分	5 全体での討論会を受けて、「魅力を活かす」「効率・公正」「持続可能性」の視点から良かった案を出し合う。 ・4人グループで交流する。 ◇シャッター通りを、若者等の起業家に貸すことは効率がいいのではないか。	
終末	6分	6 グループでの交流をもとに、最終的私たちにできることはなにかを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(生徒の予想されるまとめの例) ○○候補の商店街の空きスペースを貸出し、商品に応じたストリート街をつくるという意見は空き空間の有効活用と若者等の起業支援にもなり商店街の活性化につながると感じた。また温泉や菊池の特産物もたくさんあるので、もっと身近な地域のことを知ったり、地産地消の料理を自分で作ったりして、SNS等を通じて自分なりに広めていきたい。</p> </div>	○全体討論会やグループ活動を通して、中学生の私たちに何ができるか、自分の考えをまとめることができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【具体の評価規準】思考・判断・表現 自分の住むまちの将来の展望について、効率と公正の視点を踏まえ、友達の政策を参考にし、最終的に中学生の今、私たちに貢献できることは何かを考えることができる。 (方法: ワークシート) 【到達していない生徒への手立て】 机間指導において、個別に助言する。</p> </div>
	8分	7 GTからの感想を聞く。	○本時の学習やGTの講評を通して、政治に参加することに対して考えの深まりや、自己の考えの変容を記述させる。
	2分	8 教師のまとめを聞く。	
	3分	9 本時の学習を振り返る。	